

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	山本 英朝	内線 6400
小施策	13-3	スポーツ団体等との連携強化	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
スポーツ大会などの企画運営や競技力向上のためには、指導にあたる組織や人材が必要となるため、スポーツを支えるための組織・人材などとの連携を強化する必要がある。		市民へのスポーツの普及・定着化と競技力の向上を目指すとともに、スポーツツーリズムを推進するため、広域市町、関係機関・団体などとの連携を強化する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
スポーツ団体等		団体の役割を明確にし、市民のスポーツ活動が活発に展開される環境を作る。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 市が共催・後援する事業の数	事業	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人盛岡市体育協会、各競技団体、総合型地域スポーツクラブ等の事業数が増加した。 ・ホストタウンとして水球カナダと事前キャンプの覚書を締結した。 ・ホストタウン事業としてラグビーカナダの事前キャンプの受入れが決定した。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市総合アリーナ(旧アイスアリーナ)等の既存の施設整備が進んだことにより、スポーツをする環境を整備することができた。 ・カナダの現地エージェントを通じ、カナダの競技団体と交渉を進めることができた。
当初値 (H25) 193	H31目標値 240	H36目標値 290			
			問題点	⇒	問題の要因分析
			<ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体や総合型地域スポーツクラブの活動を支援する必要がある。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体や総合型地域スポーツクラブの活動に携わるスタッフが高齢化、固定化している。
指標② 総合型地域スポーツクラブの数	団体	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブが1団体増えた。 ・総合型地域スポーツクラブの開催する教室や大会について、共催することにより活動場所の利用料軽減等を行い、事業運営の支援ができた。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの種目を幅広い年代を対象にして、スポーツ教室等を行う総合型地域スポーツクラブの運営支援を行ったことがクラブの増につながった。 ・利用料の軽減により利用しやすかったと考える。
当初値 (H25) 5	H31目標値 12	H36目標値 24			
			問題点	⇒	問題の要因分析
			<ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツ活動機会の拡大に向けた支援を行う総合型地域スポーツクラブの創設に繋がっていない。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの創設には時間を要する。 ・総合型地域スポーツクラブの創設に係るノウハウを持っている人材が少ない。

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 盛岡市体育協会や各競技団体、総合型地域スポーツクラブが各教室や大会を開催しやすいようにするため、連携を強化し、情報提供を行っていく。 ★ カナダを相手国とするホストタウン事業に積極的に取り組む。 	
<ul style="list-style-type: none"> ★ 地域活性化が図られるよう、総合型地域スポーツクラブの活動状況について継続して周知を行っていくとともに、人材確保に努める。 ★ 総合型地域スポーツクラブの創設に向けた研修会を開催する。 	